



目次

女性研究者支援のさらなる加速に向けて ～最終年度を迎えた女性研究者支援 取り組みの成果～	1
千葉大学各部局GP計画発表 会を開催～6月12日 第3回シンポジウ ム実施報告～	2
両立支援企画室ホームページ が新しくなりました！	3
役立つ両立豆知識 第6回 「病児保育」	3
みる・ふいーゆ活動通信 ～2009年度活動スタート！～	4
理系進路選択支援講座を開催 ～地域連携企画～	4

女性研究者支援のさらなる加速に向けて ～最終年度を迎えた女性研究者支援 取り組みの成果～

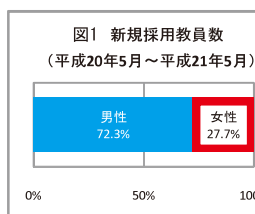
本学では、平成19年度から文部科学省科学振興調整費「女性研究者支援モデル育成」事業の支援を受け、3年間のモデル事業として、両立支援企画室が中心となって女性研究者支援に取り組んでいます。

本事業の成果として、最終年度を迎えた今年度（平成21年度）には、女性研究者の新規採用率が全体の27.7%（図1）、また本学に占める女性研究者の比率も、15.5%から17.1%に上昇（図2）するなど、数値面での成果が表れてきました。

さらに職位別にみると、平成17年度に教授2.9%、准教授4.5%だった女性研究者が、平成21年度には教授が4.3%、准教授は4.7%に増加（図3）するなど、上位職位における女性研究者比率も上昇、さらに本学の教育研究管理職である女性部局長も、昨年度まで看護学部長1名でしたが、今年度から3名となりました。

こうした成果をさらに加速させるためにも、両立支援企画室では引き続き女性研究者が能力を発揮できる環境整備を推進していきます。

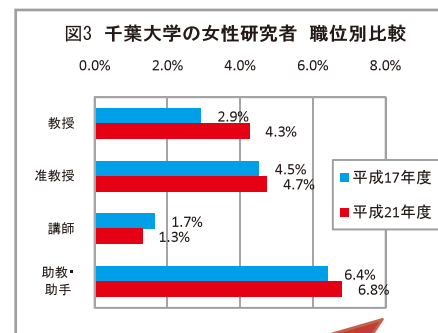
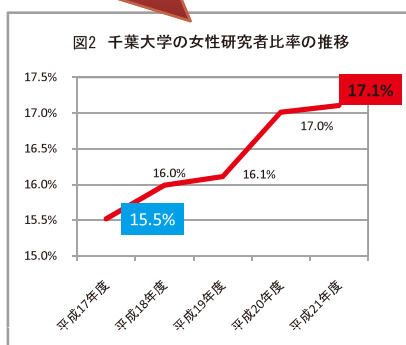
女性研究者支援取り組みの成果



女性研究者の
新規採用率が
20%以上に！

女性研究者比率の向上！

取り組み前平成17年度は15.5%だったが、平成21年度には、17.1%に上昇



教授・准教授層の女性研究者 比率のUP！

平成21年度はこれまで1名だった部
局長が3名に。

平成21年4月 勤務制度改革の実現



「短時間勤務制度」導入
「育児部分休業制度」改正
「不妊治療にかかる休暇」新設

千葉大学各部局GP計画発表会を開催 ～6月12日 第3回シンポジウム実施報告～

2009年6月12日 シンポジウム「千葉大学における女性研究者支援の多様な取り組み～部局GP計画発表会～」を開催しました。

当日は齋藤学長をお迎えし、本学の女性研究者育成取り組み成果をはじめ、両立支援企画室での取り組みの成果や各部局が取り組んでいる両立支援の取り組みの様子について報告を行いました。



【プログラム概要】

日時:2009年6月12日(金)14:30-17:00

場所:千葉大学 西千葉キャンパス
けやき会館3階レセプションホール

対象:教職員および学生・一般の方

【内容】

- ・開会の辞 千葉大学長 齋藤 康
- ・事業報告「女性研究者の支援循環型体制の構築の状況」両立支援企画室 室長 森 恵美
- ・GP計画発表 薬学研究院／文学部／教育学部／看護学研究科／工学研究科／園芸学研究科



各部局のGP計画発表 ～一部抜粋してご紹介します～

薬学研究院 報告者:研究院長 石川 勉

＜薬学研究院における公募状況や新規採用の現状＞

1. ほぼ100%が任期制で、教員採用は公募が原則。
2. 公募要項中に、「教育研究業績が同等であれば、女性を積極的に採用します」、を明記。
3. 男女の区別はなく、能力等を基準して選考。

文学部 報告者:文学部両立支援室長 池田 忍

2008年7月の教授会にて、教員人事における女性の採用を推進の方策として、文学部における教員公募書類に、「千葉大学文学部は、男女共同参画を推進しています」との文章を表記することを決定した。



教育学部 報告者:教育学部両立支援室長 伊藤 葉子

2009年度より大学院において昼夜間授業の完全実施が開始され、子育て中の女性研究者への両立支援が重要な課題。そこで女性研究者の支援の一環として、3月に千葉大学で開催された学会で「臨時学童保育(Kid'sプログラム)」を試行した。

看護学研究科

報告者:看護学研究科両立支援室員 緒方 泰子

部局主催で、研究者のワーク・ライフ・バランスに関するセミナーを開催。さらにニュースレターやマグネットの配布などを通じて、両立支援の必要性を伝える活動を実施した。

工学研究科 報告者:工学研究科長 野口 博

＜女性研究者増加に向けた取り組み＞

- ・メディアもフルに活用して、大学連携により工学での女子学生や女性研究者の必要性を社会にアピール。
- ・女性のセンスをより活かせる工学、工学の仕事などを開発し、Webサイトなどで幅広くPRしていく。 など

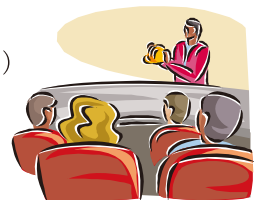
園芸学研究科

報告者:園芸学研究科両立支援室長 小野佐和子

- ・FDとセミナーによる支援制度の教職員への普及。これまでに合計9回実施。
- ・研究科教授会と関連同窓会が協力してメンター育成男女合わせて7名の教員が全学のメンターに登録。

【参加者の声】

- ・部局ごとの取り組みの違いや多様性に非常に深くかかせていただきました。(大学院生・女性)
- ・女性研究支援は子育てで以外にもあるという視点が大切だと思いました。(他大学教員・女性)
- ・女性に限らず、ワークライフバランスのライフ部分を大切にできるような組織構成員の意識づけ、風土づくりが実現すると良いのだろうと思います。(教員・女性)



両立支援企画室ホームページが新しくなりました！

両立支援企画室のホームページをリニューアルしました。「両立支援企画室では、どんな支援を提供しているのかわかりにくい」という声を受け、リニューア

ル後は、支援メニューが一目でわかるページや、介護・育児など支援項目ごとにサービスを紹介するページを設けました。ぜひご活用ください。

リニューアルしました！

支援メニューが探しやすくなりました。

「お知らせ」、「イベント」など、どんな情報が更新されたか一目でわかるようになりました。

女性研究者支援のホームページもリニューアルしました。

両立支援企画室ホームページ <http://www.gakuzyutsu.chiba-u.jp/>

役立つ両立豆知識 第6回 「病児保育」

両立支援企画室では今年7月に、育児負担のある教職員を支援するために、病後児を対象に、自宅にベビーシッターを派遣する際に割引が受けられる「病児保育システム」をスタート（注1）しました。

働く親の子育て支援として近年欠かせないものになりつつある「病児保育」サービス。厚生労働省では、病児・病後児保育の目的を、「保育所に通所中の児童等が病気の回復期にあり、集団保育が困難な期間、その児童を保育所、病院等に付設された専用スペース等において一時的に預かる事業（病後児保育）などを行うこと

により、保護者の子育てと就労の両立を支援するとともに、児童の健全な育成及び資質の向上に寄与すること。」としています。

現在、病児・病後児の預かりは、各市町村や、各市町村に設置されているファミリーサポートセンター、NPO法人など、様々な機関でサービスを提供しています。

千葉市でも、千葉市保険福

祉局（子ども家庭部子育て支援課）が、「病児・病後児保育事業」として、市内在住または市内の保育所・幼稚園等に通っているお子さんと、病気の回復期等にあるため保育所などに預けることができない場合で、保護者が就労または、傷病、事故、出産、冠婚葬祭などの理由により、家庭での育児が困難な時に、診療所に併設した病（後）児保育施設で子どもを預かる取り組みを実施しています。（注2）（利用にあたっては、事前の登録手続きが必要。また受け入れは、子どもの病状等により医師が判断。）

サービスの幅が広がっている病児保育ですが、利用料金や手続き方法などは機関ごとに様々。事前登録が必要になるケースがほとんどのため、万が一に備えて情報を収集しておくことが必要です。

（注1）「病児保育システム」利用の申込は7月24日で締め切りました。

（注2）千葉市の病児・病後児保育事業の詳細は、千葉市ホームページをご確認ください。





千葉大学
両立支援企画室

<http://www.gakuzyutsu.chiba-u.jp/>

E-mail ryouritsu@office.chiba-u.jp

◇ 西千葉キャンパス ◇

〒263-8522

千葉市稲毛区弥生町1-33

TEL&FAX 043-290-2020

(内線4043)

◇ 亥鼻キャンパス ◇

〒260-8672

千葉市中央区亥鼻1-8-1

TEL&FAX 043-226-2774

(内線5782)

みる・ふいーゆ活動通信 ～2009年度活動スタート!～

今年6月に、みる・ふいーゆ*メンバー募集を締め切り、7名が今年度のメンバーとして活動してくれることになりました。

昨年度は主に先輩研究者への取材から、研究者を目指す上での姿勢、研究をどう将来に活かすかなど、様々なことを学びました。



今年度はメンバー自らが研究者を目指す後輩に、大学院生活についてや、大学院生としての将来の進路の探し方などについて発表する「キャリアガイダンス」を10月に開催する予定です。

*みる・ふいーゆとは・・・

千葉大学では、女性研究者支援事業の一環として、研究者を目指す女性大学院生が集まり、“みる。ふいーゆ”として活動。お手本となる先輩を取材・発表したり、後輩に向けたキャリアガイダンスの企画開催などに取り組んでいます。



理系進路選択支援講座を開催 ～地域連携企画～

8月6日(木)白井市青少年・女性センター主催、千葉大学両立支援企画室共催企画「理系進路選択支援講座」を開催しました。

本講座には16名の中高生が参加し、午前は理系分野の女性研究者3名による研究紹介や、研究者を囲んだグループワークを実施しまし

た。さらに午後は、理学部内にある「サイエンスプロムナード」を見学し、実際に科学の面白さを体感してもらいました。

参加者たちは、初めての大学訪問に緊張した様子でしたが、さまざまな理系分野の研究に触れ、興味を深めて頂けたようです。

編集後記

7月29日みる・ふいーゆメンバーの1人に元気な男の子が誕生しました!昨年みる・ふいーゆの活動で、お子さんを持つ研究者を取材した経験を持つ彼女は、「取材で伺ったお話が、こんなに早く活かせる機会が訪れるなんて!」と驚いていました。

今後はママさん大学院生として、後輩たちの良きモデルとなってくれるでしょう。

(特任研究員 小玉小百合)



▲午前 研究者を交えたグループワーク



▲午後 サイエンスプロムナード見学



千葉大学では、平成19年度文部科学技術振興調整費(女性研究者支援モデル育成事業)「循環型支援体制による女性研究者育成モデル」に取り組んでいます。 <http://www.womensupport.chiba-u.jp/>